

< Vol.19 の記事 >

サッカー広場 盛況！！

JY、Y夏期合宿。生涯 over30 大会参加

【サッカー広場】

この8月から新たな試みとして始めましたサッカー広場（主に小学生4～6年対象）は、8月4日に初回を迎えましたが、その後あっという間に、14日、21日、28日と計4回を無事開催しました。

地元、道祖土小を中心に近隣の小学校から各回約50～70名の参加し、夏休み最後となる28日はなんと93名の参加があり、ピブスもボールも足りなくなるという、うれしい誤算も生じました。



内容をあまり煮詰めないままの見切り発車でしたが、一般会員の方々（毎回多くの会員の方に顔を出していただきました。青木コーチ、清水さん、石井さん、伊藤さん、松田さん・・・その他大勢の皆さん ありがとうございます）や、ユースの3年生（高見、中村、伊藤、江波戸・・・）の献身的（？）な手伝いのもと、宮崎・岡本の両コーチを中心にメニューを組み立て、試行錯誤しながらも、毎回楽しく、無事に進めることができました。（8/30時点での入会者数は49名です。）

9月からは、無料体験期間を終え、会費をいただくこととなりますので、よりシビアな見方をされることもあるかと思いますが、小学生に楽しさを伝える・覚えてもらうということを一義に、続けていきたいと考えています。

夏休みも終わり、お勤めの方は時間的にも苦しい

かと思いますが、引き続きご支援のほど御願いたします。



8月の4回を終えて、いくつか今後の活動に向けて考えなければいけないポイントも出てきました。

一つ目は、小学生の授業時間の長さというか、遊ぶ時間の短さです。高学年になるとほとんど毎日5～6時間で帰宅するのは4～5時。これでは夏場のほんの短い時期を除いて、外で（太陽のもと）遊ぶことなど不可能に近いものがあります。

また、塾などの習い事も多く、友達がそろって遊ぶことがなかなかできないこと。

こんなことから、ナイターも完備していて、一緒に遊べる友達がいる「サッカー広場」はまさに小学生にもちょうど良い場なのかもしれません。子供は昼に遊ぶもの・・・ということが不可能な社会を大人が作ってしまっているようです。となると、これからのスポーツ施設のあり方なども考えなければならぬでしょうし（これまではナイターは大人のものでした）メニューを用意してあげる組織もますます必要になってくるものと思います。

二つ目は、見学（付き添い）に来られる保護者の方とちびっ子達です。実に多くの母親達が、広場を

見守っていました。なかには、体を動かしたい・・・というお母さんもいらっしゃいました。

彼女達にとっても、運動の場というのがなかなか与えられていないということに気がつきました。

どうしても子供優先となるためです。でも、じゃあ、今回、付き添いにきていて2時間座っているのならば、横で何かできるのではないかと。ママさん教室の開催までも考えられなくはないようです。

さらに、もっと小さな子供たち。お兄ちゃんについてしかたなくきているのですが、彼ら・彼女らもまた遊びたいようです。少子化と近所付き合いの変化のせい、やはり、この世代も友達と外で思い切り体を動かして遊ぶ機会が少ないのでしょうか。

というわけで、場所とメニュー（ちょっと面倒をみってくれるコーチ、道具）があれば、サッカー（に限らず、他のスポーツでも）をする人は確実に増える可能性があることを感じた8月シリーズでした。

さて、9月からは水曜日の3～5時の枠でRED Sが低学年を対象としたスクールを行います。時間的に引き続いて浦スポの広場となります。Uhhh 微妙だ（笑）

【夏合宿！】

昨年より始まった群馬県バラキ高原合宿ですが、今年はユースも多数参加し、同期間で開催される民間のOVER-30大会に参加した一般会員を加え、総勢50名を超える大所帯で、8/23～25の2泊3日の夏季合宿に行ってきました。

初日は霧雨と濃霧で数10m先も見えないような中、走り込み系のトレーニングを中心に体力づくりに励みました。その後も悪天候が懸念されましたが、二日目からは持ち直し、予定とおりの練習が行えました。

昨年オープン大会に出場し、大学生チームに苦杯を喫した生涯チームは、上位進出を狙ってover-30の大会にエントリーしました。ユース3年2名の支援もあり（31歳以上が常時7名以上出場していればよいので、ルール違反ではありません！）無事予選リーグを1位通過し、決勝トーナメントに望みましたが、今年もまた結果として優勝チームに行方を阻まれ、準決勝敗退の4位という成績に終わりました。

しかしながら、その中でも、ユース3年の宮竹君のパワーは多くの観客の注目を集め、確実にMIPであったと思います（残念ながら、賞の設定がありませんでしたが^^）なにせ、キックオフシュートが、まったくおじぎせずに、伸びるような弾道のまま枠を捉えるのですから・・・。



クラブの性格上、いろいろな学校の行事を避けながら日程を調整したことから、今年は8月最終週になってしまいましたが、芝の状態や天候を考えるとやはり7月末～8月初旬がいいようです。

ただ、やはり遠方での宿泊は費用もかかることから、身近でもう少し長く行える通い合宿などの方法も、今後は考えていかなければならないとも感じました。

ユースの中には、自分のバイト代でサッカーを続けている者もいますので、費用負担を少なくしながら活動を充実させていくことも必要です。

皆さんからもお知恵をお貸しください。

なにせ、毎日の練習に電車賃1,000円近くをよけいにかけている者が少なくありません。。。。

【北浦和小でレクリエーション広場！】

さいたま市レクリエーション協会、ソフトバレーボール連盟会長の秋山さんが主催で、毎月第一、第三日曜日の1時半から、北浦和小学校の体育館でレクリエーション広場を開催しています。

まだ、PRができておらず、数名の参加ですが、小さいお子さんから高齢者まで楽しめる軽スポーツや遊びを中心にしています。

秋山さんとは、SSRC（さいたま市に総合型地域スポーツレクリエーションクラブを創る会）と一緒に活動させていただいています。このような広場との連携を図ることで、活動の間口を広げていくことが、総合型地域SCへの近道かもしれません。

そのうち、ちびっ子相手のミニサッカー広場をこの中で行うかもしれません。

関心のある方は一度覗いてみてください。参加費50円です。

浦和SCニュースは、クラブ内の情報交換を図ることを目指して発行しています。

外部へのPRにもどんどん利用してください。必要があれば部数をお送りします。事務局までご連絡ください。

発行は不定期になることをご了承ください。